

戸谷成雄 彫刻

Toya Shigeo Sculpture



ある全体として *Entity*

長野県立美術館 2022年11月4日(金)–2023年1月29日(日)

長野県立美術館

彫刻家・戸谷成雄は、国内外の戦後美術において制度として解体された彫刻と向き合い、その本質から再構築しようと試みてきました。

作品の基本的な構造は、戸谷が彫刻家をこころざした1970年代の熟考により形作られました。人類学や言語学の方法論をもじいて社会の構造のありかたを問うという、そのころの世界的な思想のながれは、日本社会について人間の存在認識から探究する視点をもたらし、戸谷の制作における彫刻の構造と根源への問い合わせとも共振します。

長野県での初めての個展となる本展では、戸谷成雄の初期から近年の作品まで約30点を展示します。「表面」や「構造」といった戸谷の彫刻概念の視座として、日本語の言語構造へのアプローチに目を向けてみることで、そのあいから立ち現われる彫刻観を展望します。

戸谷成雄（とや・しげお）

1947年長野県上水内郡小川村生まれ。愛知県立芸術大学大学院彫刻専攻修了。武蔵野美術大学彫刻科名譽教授。

初個展（1974年）で発表した《POMPEII・79》など、彫刻概念の再解釈を試みたコンセプチュアルな作品を発表後、チェーンソーで木材を刻む木彫作品を中心に、1984年から《森》シリーズ、1994年から《境界》から《境界》シリーズ、2000年前後から《ミニマルパロック》シリーズなどを展開。ポスト・ミニマリズム、もの派以降解体された「彫刻」の再構築と新たな可能性を探る。

主な美術館での個展として広島市現代美術館（1995年）、愛知県美術館（2003年）、ヴァンジ彫刻庭園美術館（2011年）、武蔵野美術大学美術館・図書館（2017年）ほか。ショウゴアーツやケンジタキギャラリーなど画廊での個展多数、継続的に新作を発表している。ヴェネツィア・ビエンナーレ（1988年）参加以降、光州ビエンナーレ（2000年／アジア賞受賞）、キエフ国際ビエンナーレ（2012年）など多くの国際展にも参加し、日本の現代彫刻を代表する存在として評される。

学芸員によるギャラリートーク

日時 ①11月26日（土）14:00～15:00
②12月24日（土）14:00～15:00

会場 本館展示室1入り口集合

参加費無料（要観覧券）・事前予約不要

新型コロナウイルス感染症等諸般の事情により、会期・イベント内容等に変更が生じる場合がございます。最新情報については美術館ホームページをご確認ください。



長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4
Tel. 050-5542-8600 (ハローダイヤル)
<https://nagano.art.museum/>

アクセス：

長野県立美術館には、一般来館者の駐車場はございません。美術館近辺の駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関のご利用をお願いします。

公共交通機関：

- ①JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス11・16・17で「善光寺北」下車。バス進行方向徒歩3分。
- ②長野電鉄善光寺下駅より徒歩約15分。

開館時間 9:00～17:00 [入場は16:30まで]
休館日 毎週水曜日（ただし、11/23は開館）、
11/24 [木]、年末年始（12/28～1/4）
会場 長野県立美術館 展示室1・2・3
観覧料 一般1,000（900）円、
大学生及び75歳以上700（600）円、
高校生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金 ※本館コレクション展および東山魁夷館との共通料金=一般1,500円、大学生および75歳以上1,000円 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料

主催：長野県・長野県立美術館、戸谷成雄展実行委員会

共催：長野県教育委員会

協力：ショウゴアーツ、ケンジタキギャラリー

後援：長野市・長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社、信濃毎日新聞社、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、INC 長野ケーブルテレビ



表面《森の象の森の死》1989年 230×560×62cm 木、灰、アクリル 東京都現代美術館蔵 撮影：山本紹

裏面《森IX》2008年 220×30×30cm (30pcs) 木、灰、アクリル ベルナール・ビュフェ美術館蔵

撮影：山本紹（ヴァンジ彫刻庭園美術館「戸谷成雄 洞穴の記憶」展示風景）

《視線体一積》2021年 142×171×201cm 木、灰、アクリル 作家蔵 Copyright the artist Courtesy of ShugoArts

《双影体II》2001年 73×84×850cm 木、灰、アクリル 愛知県美術館蔵

撮影：武藤滋生 Courtesy of ShugoArts (ライスギャラリー by G2展示風景)